

平成 27 年度

決 算 概 要

姫 路 市

目次

1	一般会計	1
	(1) 対前年度比較(総括)	1
	(2) 構成比	3
	(3) 対予算比較(款別)	4
2	特別会計	6
3	企業会計	7
4	市税・義務的経費の推移	8
	(1) 市税の推移	8
	(2) 義務的経費の推移	8
5	基金・地方債	9
	(1) 基金現在高の推移	9
	(2) 地方債現在高の推移	10
6	一般会計等から各会計への繰出金	11
7	財政健全化指標	12
参考資料		
	(1) 健全化判断比率の推移(中核市平均との比較)	14
	(2) 地方消費税交付金(社会保障財源化分) を充てた社会保障施策	15

1 一般会計

姫路市の平成 27 年度決算は、一般会計の歳入が 2,159 億 7,762 万 4 千円、歳出が 2,089 億 8,511 万 9 千円で、形式収支は 69 億 9,250 万 5 千円、ここから翌年度への繰越財源 13 億 7,543 万 2 千円を差し引いた実質収支は 56 億 1,707 万 3 千円となり、昭和 43 年度以来 48 年連続の黒字を確保しました。

(単位:千円)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	繰越財源	実質収支
一般会計	215,977,624	208,985,119	6,992,505	1,375,432	5,617,073

(1) 対前年度比較(総括)

平成 27 年度決算における一般会計の歳入は、2,159 億 7,762 万 4 千円で、前年度と比べて 57 億 1,774 万 9 千円、2.7%の増となりました。歳出は、2,089 億 8,511 万 9 千円で、前年度と比べて 61 億 4,740 万 1 千円、3.0%の増となりました。

また、単年度収支は 1 億 7,123 万 2 千円の黒字となりました。

(単位:百万円、%)

事 項	27 年度		26 年度		比較	
	決算額	執行率	決算額	執行率	金額	増減率
歳 入 A	215,978	93.7	210,260	94.6	5,718	2.7
歳 出 B	208,985	90.7	202,838	91.2	6,147	3.0
形式収支 (A-B) C	6,993		7,422		△429	△5.8
繰越財源 D	1,376		1,977		△601	△30.4
実質収支 (C-D) E	5,617		5,445		※a 172	3.2
翌年度への繰越額	7,078	※b 93.7	6,847	※b 94.3	231	3.4

(注)※a は単年度収支(27 実質収支-26 実質収支)

※b は「歳出 B」に「翌年度への繰越額」を加えた時の執行率

主な増減要因（前年度対比）

（単位：百万円）

【歳入】

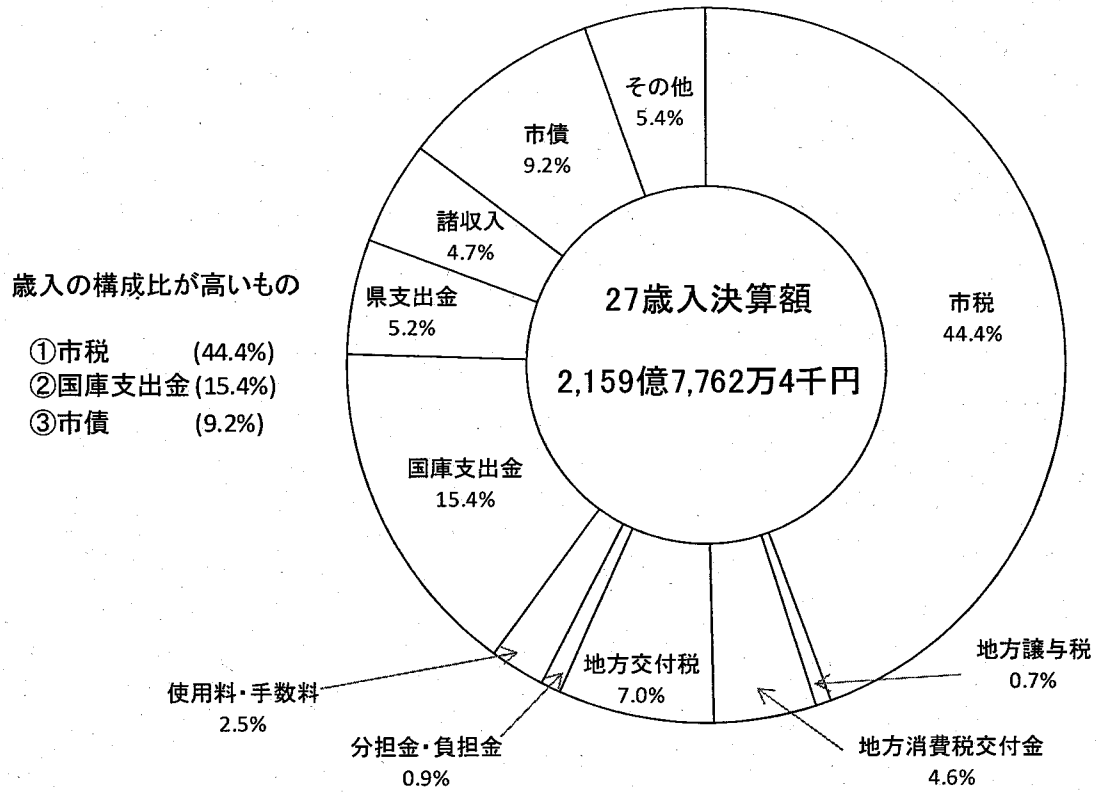
地方消費税 交付金	+3,762	消費税率改正影響の平年度化に伴う増
県支出金	+1,990	子ども子育て支援新制度創設に伴う児童福祉費県負担金の増
市債	+1,773	合併特例債の増、臨時財政対策債の減
市税	+17	個人市民税の増、法人市民税、市たばこ税の減
地方交付税	△1,134	普通交付税の減
国庫支出金	△570	臨時福祉給付金事業、土木費国庫補助金の減
分担金及び 負担金	△312	児童福祉費負担金（私立保育所利用者負担金）の減

【歳出】

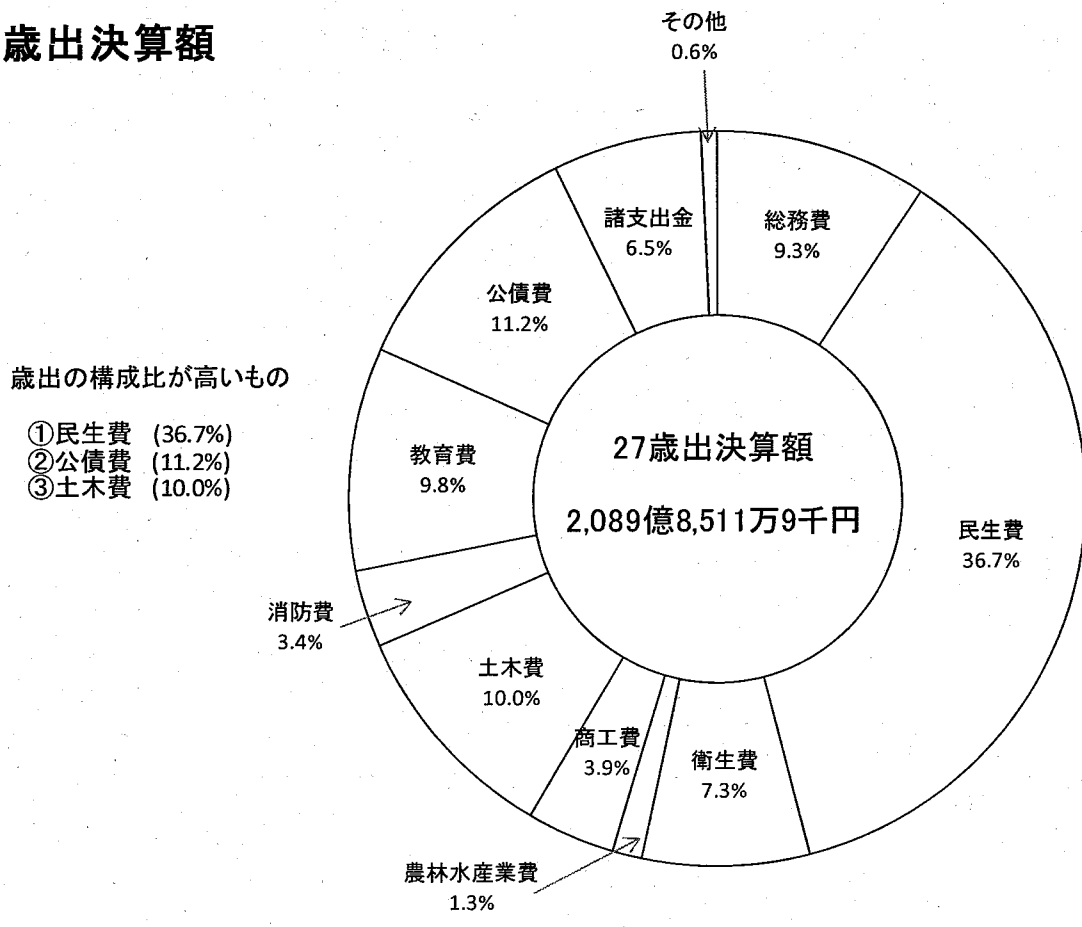
民生費	+3,743	子ども子育て支援新制度創設に伴う私立施設教育・保育給付費、国保繰出金、介護繰出金、障害者福祉、養護老人ホーム整備の増、臨時福祉給付金事業の減
総務費	+2,563	21世紀都市創造基金積立、マイナンバー関連システム整備、情報システム最適化の増
公債費	+2,181	地方債繰上償還による元金償還金の増
衛生費	+1,496	中部衛生センター整備、市川美化センター整備の増
教育費	+1,464	中学校整備、文学館整備、科学館整備、公民館整備の増、小学校整備の減
土木費	△2,942	姫路駅周辺整備、街路整備、土地区画整理事業の減 交通安全対策、河川整備の増
商工費	△2,306	金融対策事業、工場立地奨励、姫路城整備事業の減

(2) 構成比

歳入決算額



歳出決算額



(3) 対予算比較(款別)

(歳入)

(単位: 千円、%)

款名	予算現額	調定額	決算額	不納欠損額	収入未済額	執行率
市税	94,600,000	100,686,977	95,986,971	380,292	4,319,714	101.5
地方譲与税	1,301,000	1,418,999	1,418,999			109.1
利子割交付金	162,000	179,561	179,561			110.8
配当割交付金	403,000	579,022	579,022			143.7
株式等譲渡所得割交付金	215,000	571,068	571,068			265.6
地方消費税交付金	8,640,000	9,994,024	9,994,024			115.7
ゴルフ場利用税交付金	71,000	65,566	65,566			92.3
自動車取得税交付金	208,000	352,292	352,292			169.4
国有提供施設等 所在市助成交付金	7,019	6,938	6,938			98.8
地方特例交付金	337,000	362,291	362,291			107.5
地方交付税	14,708,573	15,129,044	15,129,044			102.9
交通安全対策特別交付金	110,000	110,921	110,921			100.8
分担金及び負担金	2,404,872	2,037,006	1,997,754	5,705	33,547	83.1
使用料及び手数料	5,788,823	5,630,962	5,495,126	28,142	107,694	94.9
国庫支出金	39,619,751	35,923,101	33,164,848		2,758,253	83.7
県支出金	13,060,664	12,269,284	11,251,261		1,018,023	86.1
財産収入	1,278,925	946,546	946,546			74.0
寄附金	84,945	217,689	217,689			256.3
繰入金	3,968,698	753,091	753,091			19.0
繰越金	7,422,156	7,458,211	7,458,211			100.5
諸収入	8,942,158	10,773,689	10,063,501	60,123	650,065	112.5
市債	27,154,600	19,872,900	19,872,900			73.2
合計	230,488,184	225,339,182	215,977,624	474,262	8,887,296	93.7

(注) 収入未済額のうち、翌年度繰越明許費に係るもの 3,781,106 千円
(内訳 分 4,830 千円、国 2,758,253 千円、県 1,018,023 千円)

(歳出)

(単位：千円、%)

款名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	現年度執行率	繰越を含めた執行率
議会費	1,168,312	1,096,812		71,500	93.9	93.9
総務費	21,679,982	19,485,782	82,900	2,111,300	89.9	90.3
民生費	82,445,581	76,610,092	2,704,420	3,131,069	92.9	96.2
衛生費	15,999,839	15,249,510		750,329	95.3	95.3
労働費	343,081	309,658		33,423	90.3	90.3
農林水産業費	4,719,984	2,777,298	1,339,950	602,736	58.8	87.2
商工費	8,645,497	8,092,518	65,000	487,979	93.6	94.4
土木費	26,816,846	20,821,235	2,705,861	3,289,750	77.6	87.7
消防費	7,447,907	7,145,932		301,975	95.9	95.9
教育費	22,817,967	20,490,919	143,362	2,183,686	89.8	90.4
災害復旧費	98,237	34,813	36,145	27,279	35.4	72.2
公債費	23,538,707	23,305,078		233,629	99.0	99.0
諸支出金	14,607,365	13,565,472		1,041,893	92.9	92.9
予備費	158,879			158,879		
合計	230,488,184	208,985,119	7,077,638	14,425,427	90.7	93.7

2 特別会計

平成 27 年度特別会計の決算について、7 つの特別会計合計で、歳入が 1,164 億 5,654 万 7 千円、歳出が 1,124 億 3,534 万 6 千円で、形式収支及び実質収支は 40 億 2,120 万 1 千円の黒字となりました。

会計別では、全ての会計において赤字決算はありません。

(単位：千円)

会計名		歳入決算額	歳出決算額	形式収支	繰越財源	実質収支	不納欠損額	収入未済額
卸売市場事業		962,203	735,276	226,927		226,927		4,624
母子父子寡婦福祉資金貸付事業		100,990	35,385	65,605		65,605	85	44,235
国民健康保険事業	事業勘定	69,798,470	66,498,237	3,300,233		3,300,233	377,932	1,685,222
	直営診療施設勘定	341,127	222,417	118,710		118,710		
介護保険事業		38,908,340	38,763,905	144,435		144,435	102,229	267,295
後期高齢者医療事業		6,161,559	5,996,268	165,291		165,291	10,469	43,968
奨学学術振興事業		26,809	26,809	0		0		
財政健全化調整		157,049	157,049	0		0		
合 計		116,456,547	112,435,346	4,021,201		4,021,201	490,715	2,045,344

(単位：百万円、%)

事 項	27 年度		26 年度		比較	
	決算額	執行率	決算額	執行率	金額	増減率
歳 入 A	116,457	98.8	106,746	99.1	9,711	9.1
歳 出 B	112,436	95.4	101,029	93.8	11,407	11.3
形式収支 (A-B) C	4,021		5,717		△1,696	△29.7
繰越財源 D						
実質収支 (C-D) E	4,021		5,717		△1,696	△29.7
翌年度への繰越額		95.4		93.8		

3 企業会計

平成 27 年度企業会計決算は、水道事業会計、都市開発整備事業会計が黒字、下水道事業会計が収支均衡となりました。

(1) 水道事業

(単位:千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	収支
予算額(A)	10,533,898	9,912,140	621,758	1,992,177	5,216,012	△ 3,223,835
決算額(B)	10,518,435 (9,824,626)	9,549,095 (9,050,344)	969,340 (774,282)	1,731,619 (1,719,601)	4,088,517 (3,886,541)	△ 2,356,898 (△2,166,940)
(A)-(B)	15,463	363,045	△ 347,582	260,558	1,127,495	△ 866,937
執行率	99.9%	96.3%		86.9%	78.4%	

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額
平成 27 年度の収入未済額は 285,701 千円

(2) 都市開発整備事業

(単位:千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	収支
予算額(A)	2,387,228	2,264,348	122,880		418,857	△ 418,857
決算額(B)	99,240	78,595	20,645		218,891	△ 218,891
(A)-(B)	2,287,988	2,185,753	102,235		199,966	△ 199,966
執行率	4.2%	3.5%			52.3%	

(注) 課税取引がないため消費税及び地方消費税なし
平成 27 年度の収入未済額は 1,359 千円

(3) 下水道事業

(単位:千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	収支
予算額(A)	22,382,014	21,917,716	464,298	11,052,249	18,079,702	△ 7,027,453
決算額(B)	20,980,736 (20,308,118)	20,807,624 (20,308,118)	173,112 (0)	7,322,147 (7,321,691)	13,953,466 (13,719,185)	△ 6,631,319 (△6,397,494)
(A)-(B)	1,401,278	1,110,092	291,186	3,730,102	4,126,236	△ 396,134
執行率	93.7%	94.9%		66.3%	77.2%	

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額
平成 27 年度の収入未済額は 214,858 千円

(参考)

(単位:千円)

区分	水道事業		都市開発整備事業		下水道事業	
	27年度	26年度	27年度	26年度	27年度	26年度
総収益	9,824,626	9,833,941	99,240	1,515,881	20,308,118	20,640,993
総費用	9,050,344	15,618,777	78,595	1,464,917	20,308,118	20,637,528
総利益	774,282	△ 5,784,836	20,645	50,964	0	3,465
繰越利益剰余金	47,542	89,054	△ 2,136,442	△ 2,187,406	190,110	186,645
その他未処分利益剰余金変動額	—	20,415,896	—	—	30,000	13,021,715
未処分利益剰余金	821,824	14,720,114	△ 2,115,797	△ 2,136,442	220,110	13,211,825
議決による利益剰余金処分額	—	14,672,572	—	—	—	13,021,715

(注) 消費税及び地方消費税を除く額

※「その他未処分利益剰余金変動額」及び「議決による利益剰余金処分額」は、地方公営企業会計基準の改定等によるもの

4 市税・義務的経費の推移

(1) 市税の推移

歳入の大宗を占める市税は、法人市民税や市たばこ税が減となったものの、給与所得等の増加により個人市民税が増となったほか、課税台数の増により軽自動車税が増となったことを受け、前年度と比べ 1,663 万 2 千円の増となりました。

(単位：千円)

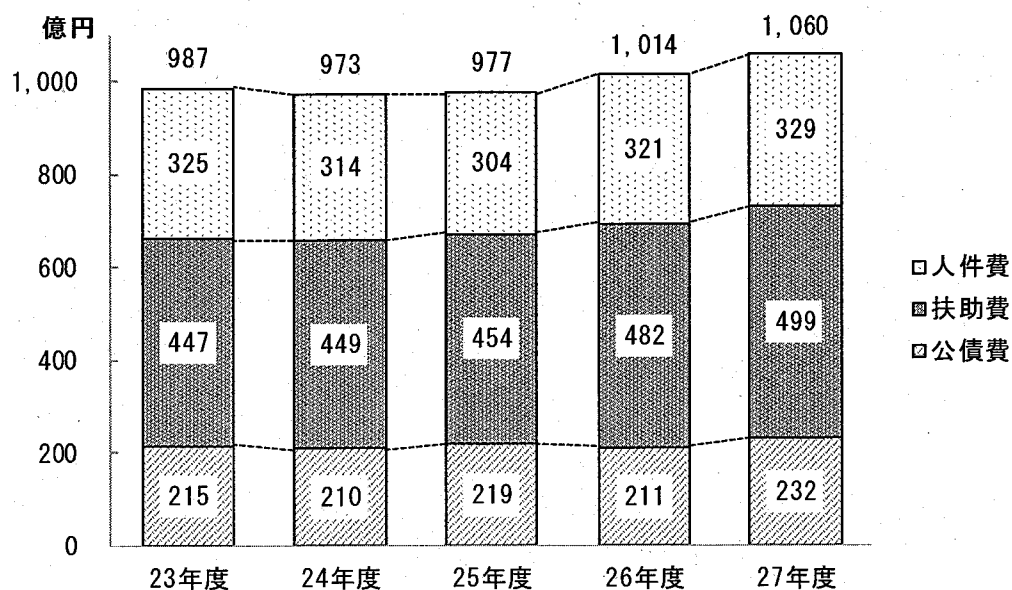
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	27-26増減額
市民税	34,481,161	35,195,019	34,287,773	35,923,602	36,125,562	201,960
固定資産税	43,730,460	41,896,640	42,446,361	43,546,850	43,517,885	△ 28,965
軽自動車税	836,001	854,304	879,419	903,127	928,331	25,204
市たばこ税	4,084,622	4,016,009	4,460,113	4,265,294	4,162,863	△ 102,431
特別土地保有税	6	189,148	335		1,765	皆増
入湯税	15,222	15,303	15,746	17,005	24,927	7,922
事業所税	4,001,365	4,339,951	4,334,075	4,402,488	4,407,311	4,823
都市計画税	7,096,219	6,783,101	6,847,301	6,911,973	6,818,327	△ 93,646
合 計	94,245,056	93,289,475	93,271,123	95,970,339	95,986,971	16,632

(2) 義務的経費の推移

義務的経費については、人件費が退職手当の増により、扶助費についても子ども子育て新制度により、公債費が繰上償還の実施により、それぞれ増となった結果、前年度と比べて 46 億 8,546 万 9 千円の増となりました。(普通会計ベース)

(単位：千円、%)

区 分	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		27-26増減額	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
人件費	32,471,004	15.5	31,413,171	15.5	30,358,955	14.6	32,062,907	15.8	32,947,495	15.8	884,588	2.8
扶助費	44,693,573	21.3	44,858,713	22.1	45,408,574	21.9	48,223,783	23.8	49,865,463	23.9	1,641,680	3.4
公債費	21,482,004	10.3	21,046,684	10.4	21,867,825	10.6	21,082,121	10.4	23,241,322	11.1	2,159,201	10.2
合 計	98,646,581	47.1	97,318,568	48.0	97,635,354	47.1	101,368,811	50.0	106,054,280	50.8	4,685,469	4.6



5 基金・地方債

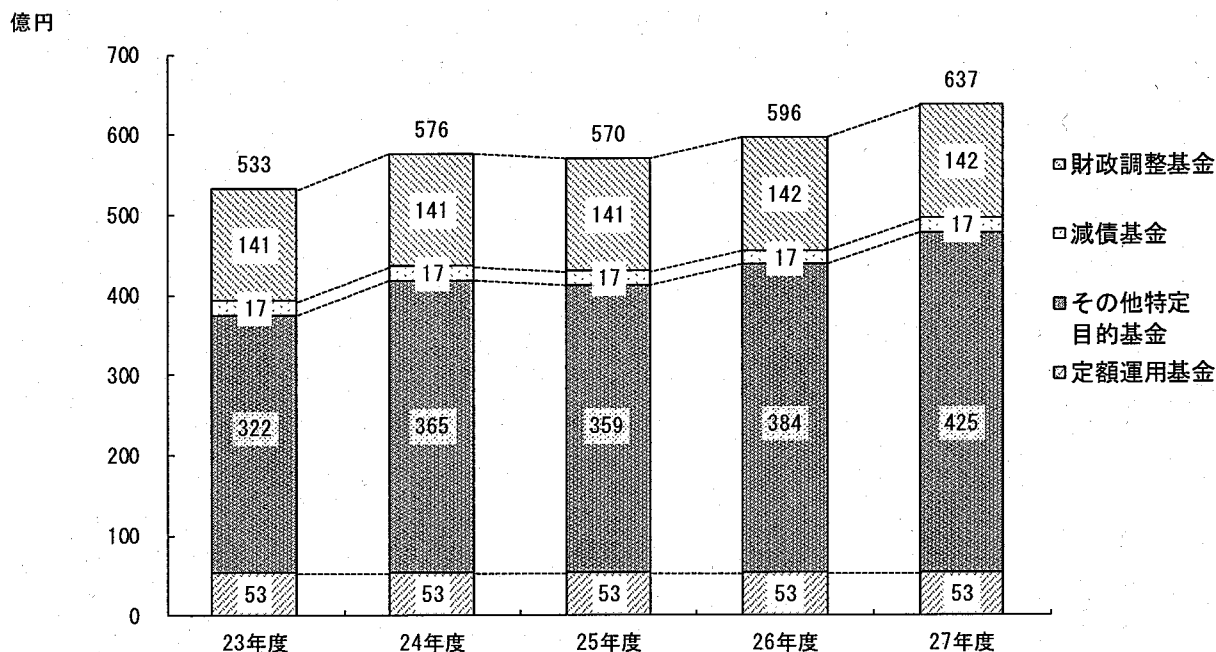
(1) 基金現在高の推移

平成27年度末現在高は636億7,231万1千円で、21世紀都市創造基金の追加積立を行ったことなどにより、前年度と比べて40億4,232万7千円の増となりました。

(単位：千円)

区 分	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	27-26増減額
財政調整基金	14,074,347	14,104,325	14,148,991	14,179,889	14,227,283	47,394
減債基金	1,703,989	1,706,014	1,709,543	1,713,150	1,719,706	6,556
その他特定目的基金	32,256,769	36,537,094	35,899,439	38,486,945	42,475,322	3,988,377
定額運用基金	5,250,000	5,250,000	5,250,000	5,250,000	5,250,000	0
合 計	53,285,105	57,597,433	57,007,973	59,629,984	63,672,311	4,042,327
市民一人あたり	100	106	105	110	118	8

(注)市民一人あたりは、住民基本台帳人口(各年度3月末日現在)による。



(参考) 主な基金の現在高の推移

(単位：千円)

区分	基金名	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	27-26増減額
その他特定目的	21世紀都市創造基金	10,571,612	10,607,272	10,632,478	13,654,100	17,683,571	4,029,471
	地域社会活性化基金	1,695,595	1,612,072	2,326,391	2,064,749	1,705,213	△ 359,536
	特別会計等財政健全化調整基金	6,220,000	9,520,000	7,951,076	7,849,773	7,723,622	△ 126,151
	地域振興基金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0
定額運用	土地開発基金	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	0

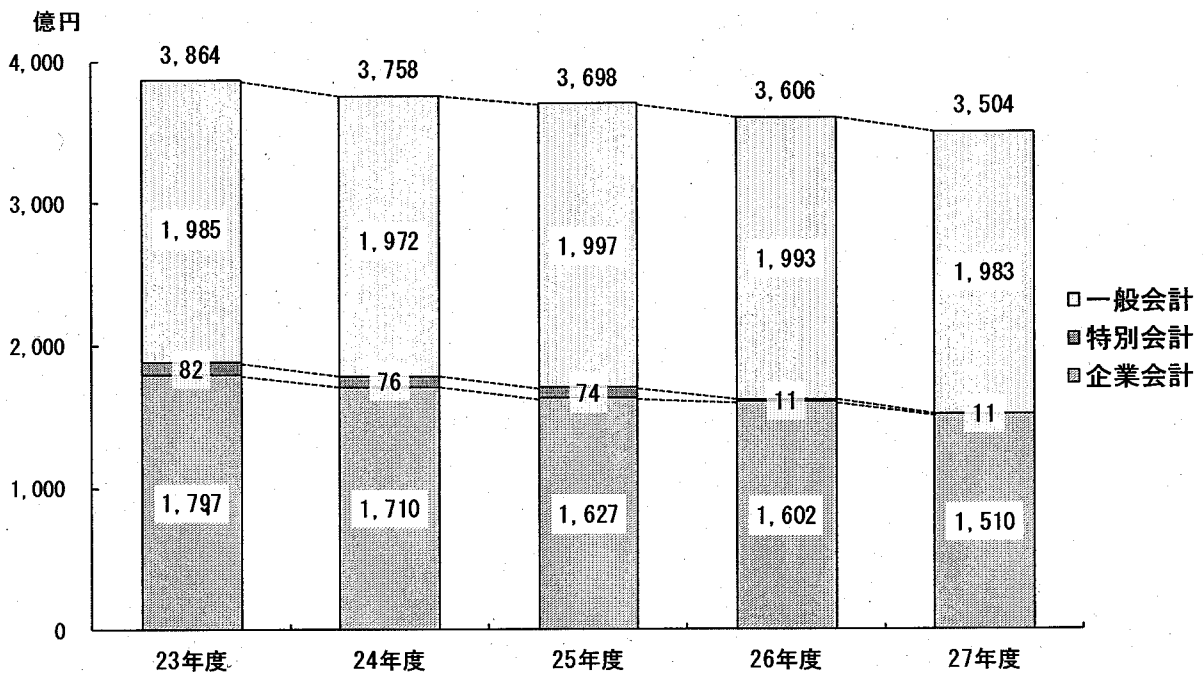
(2) 地方債現在高の推移

一般会計、特別会計、企業会計あわせた全会計の平成27年度末現在高は3,504億877万7千円で、前年度と比べて102億701万2千円の減となりました。

(単位：千円)

区 分	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	27-26増減額
一般会計	198,476,793	197,180,827	199,687,040	199,330,116	198,341,300	△ 988,816
特別会計	8,205,420	7,609,686	7,432,132	1,131,279	1,046,906	△ 84,373
企業会計	179,668,522	170,987,731	162,664,705	160,154,394	151,020,571	△ 9,133,823
合 計	386,350,735	375,778,244	369,783,877	360,615,789	350,408,777	△ 10,207,012
市民一人あたり	724	691	681	666	648	△ 18

(注) 市民一人あたりは、住民基本台帳人口(各年度3月末日現在)による。



参 考

(一般会計) 地方債現在高の推移

(単位：千円)

区 分	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	27-26増減額
通常債	127,981,859	121,868,987	116,125,809	112,034,341	109,994,138	△ 2,040,203
臨時財政対策債	58,924,752	65,855,969	73,027,791	78,860,291	81,156,379	2,296,088
第三セクター等 改革推進債			3,217,830	2,889,150	2,560,470	△ 328,680
減税補てん債等	11,570,182	9,455,871	7,315,610	5,546,334	4,630,313	△ 916,021

(注) 減税補てん債等には減収補てん債、臨時税収補てん債を含む。

(主な特別会計、企業会計) 地方債現在高の推移

(単位：千円)

区 分	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	27-26増減額
水道事業	20,513,657	20,204,811	19,642,861	19,128,128	18,867,225	△ 260,903
集落排水事業	6,563,810	6,228,872	6,176,429			—
下水道事業	159,154,865	150,782,920	143,021,844	141,026,266	132,153,346	△ 8,872,920

(注) 下水道事業の地方債現在高は旧水洗便所普及奨励特別会計及び旧コミュニティ・プラント事業会計を含み、26年度から旧集落排水事業を含む。

6 一般会計等から各会計への繰出金

- ・各会計は、それぞれ使用料等により独立採算が原則
- ・繰出金とは、一般会計及び財政健全化調整特別会計から他会計への支出
- ・繰出金は、総務省の繰出ルール(基準内繰出)によるものと、自治体独自の政策判断(基準外繰出)によるものの二種類

平成27年度決算における各特別会計及び企業会計への一般会計及び財政健全化調整特別会計からの繰出金の総額は242億6,042万7千円で、国民健康保険事業特別会計への繰出金が増となったことなどにより、前年度と比べて7億9,817万円の増となりました。

(単位:千円)

会計名		27年度	26年度	増減額	備考
卸売市場事業	基準内	187,971	204,788	△ 16,817	
	基準外	71,985	74,103	△ 2,118	財政安定化支援
	小計	259,956	278,891	△ 18,935	
食肉センター事業	基準内		34,381	皆減	
	基準外		68,201	皆減	
	小計		102,582	皆減	26年度末で会計廃止
母子父子寡婦 福祉資金貸付事業	基準内	588	606	△ 18	
国民健康保険事業	基準内	4,131,232	3,416,297	714,935	
	基準外	569,369	496,748	72,621	福祉医療支援
	小計	4,700,601	3,913,045	787,556	
介護保険事業	基準内	5,428,173	5,185,363	242,810	
後期高齢者医療事業	基準内	1,270,470	1,204,213	66,257	
水道事業	基準内	508,520	355,354	153,166	
	基準外	141,600	117,000	24,600	管路耐震化
	小計	650,120	472,354	177,766	
下水道事業	基準内	7,283,163	7,457,470	△ 174,307	
	基準外	4,667,356	4,847,733	△ 180,377	財政安定化支援
	小計	11,950,519	12,305,203	△ 354,684	
計	基準内	18,810,117	17,858,472	951,645	
	基準外	5,450,310	5,603,785	△ 153,475	
	合計	24,260,427	23,462,257	798,170	

※基準外計には、水道事業会計への財政健全化調整特別会計からの繰出(141,600)を含む。

7 財政健全化指標

【健全化判断比率】

(単位:%)

項目	27年度	26年度	25年度	説明・算式
実質赤字比率	— (△4.69)	— (△4.56)	— (△4.85)	<p>普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率</p> $\frac{\text{普通会計の実質赤字}}{\text{標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む)}} \times 100$ <p>早期健全化基準=11.25、財政再生基準=20.00 ※実質赤字がないため数値なし(「—」)となるが、算式の結果を()書で表示</p>
連結 実質赤字比率	— (△18.34)	— (△19.48)	— (△19.75)	<p>全会計を対象とした実質赤字(または資金不足額)の標準財政規模に対する比率</p> $\frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む)}} \times 100$ <p>早期健全化基準=16.25、財政再生基準=30.00 ※実質赤字がないため数値なし(「—」)となるが、算式の結果を()書で表示</p>
実質公債費比率	5.5 (4.6)	6.4 (4.7)	7.9 (7.3)	<p>全会計に一部事務組合等を加えた会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率(3年度間の平均)</p> $\frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む)} - \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}} \times 100$ <p>早期健全化基準=25.0、財政再生基準=35.0 ※()内は単年度の指数</p>
将来負担比率	9.6	25.1	42.4	<p>地方公社・第三セクター等を含む会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率</p> $\frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む)} - \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}} \times 100$ <p>早期健全化基準=350.0</p>

【資金不足比率】

(単位:%)

項目	27年度	26年度	25年度	説明・算式
資金不足比率	—	—	—	公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率
【法適用企業】				
水道事業	(△63.9)	(△59.6)	(△56.1)	$\frac{\text{資金の不足額} - \text{解消可能資金不足額}}{\text{事業の規模}} \times 100$
下水道事業	(△18.1)	(△18.6)	(△17.4)	
都市開発整備事業	(△88.5)	(△93.4)	(△81.2)	
【法非適用企業】				経営健全化基準=20.0
卸売市場事業	(△61.7)	(△50.9)	(△45.9)	※対象会計は資金不足がないためすべて数値なし(「-」)となるが、算式の結果を()書で表示 ※食肉センター事業は26年度末で廃止
食肉センター事業		(△64.1)	(△70.6)	

【参考・財政分析指標】

(単位:%)

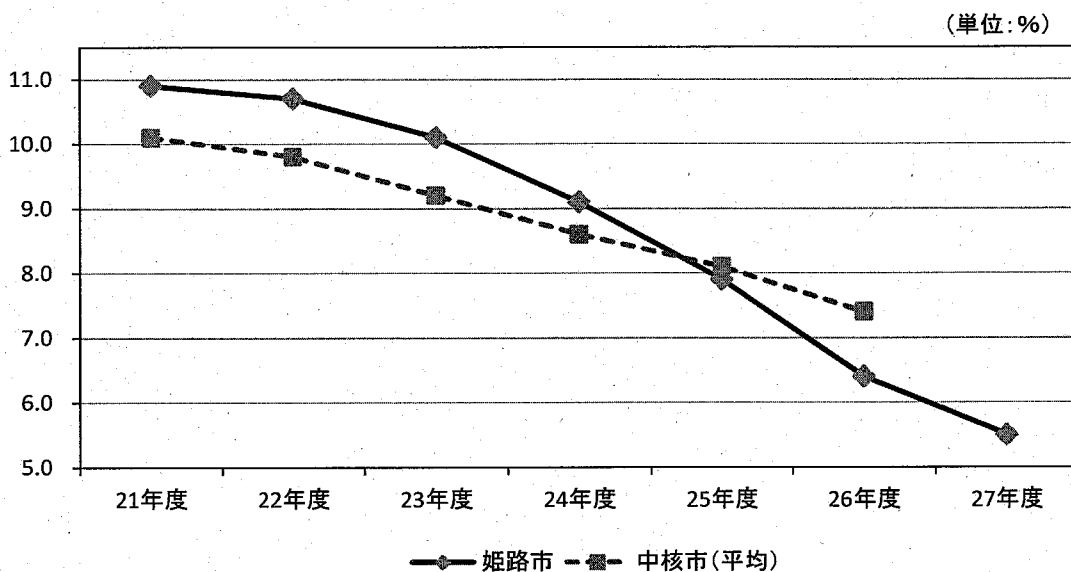
項目	27年度	26年度	25年度	説明・算式
財政力指数	0.863 (0.873)	0.852 (0.861)	0.843 (0.855)	地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。 $\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} \text{の3年度間の平均値}$ ※()内は単年度の指数
経常収支比率	83.4	83.7	82.8	地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)に占める割合。経常的経費に経常一般財源収入がどの程度充当されているかを見るものであり、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す。 $\frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源総額} + \text{減収補てん債特例分} + \text{臨時財政対策債}} \times 100$
実質収支比率	4.7	4.6	4.9	実質収支の標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む。)に対する割合。実質収支比率が正数の場合は実質収支の黒字、負数の場合は赤字を示す。 $\frac{\text{実質収支額}}{\text{標準財政規模(臨時財政対策債発行可能額を含む)}} \times 100$

【参考】

(1) 健全化判断比率の推移(中核市平均との比較)

実質公債費比率や将来負担比率は、地方債残高が年々減少していることに加え、平成27年度については、21世紀都市創造基金の追加積立や地方債の繰上償還を実施したことなどにより、改善しています。

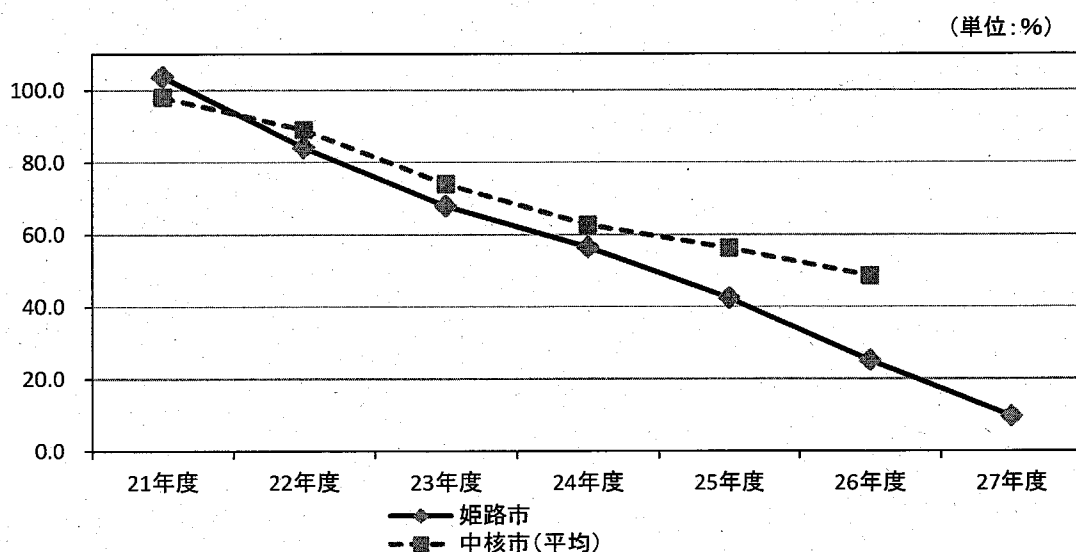
① 実質公債費比率(早期健全化基準 25.0)



区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
姫路市	10.9	10.7	10.1	9.1	7.9	6.4	5.5
中核市(平均)	10.1	9.8	9.2	8.6	8.1	7.4	

(注)中核市(平均)の27年度は、集計中のため空欄

② 将来負担比率(早期健全化基準 350.0)



区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
姫路市	103.7	84.1	67.9	56.5	42.4	25.1	9.6
中核市(平均)	98.0	89.0	74.0	62.7	56.2	48.6	

(注)中核市(平均)の27年度は、集計中のため空欄

(2) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)を充てた社会保障施策

平成 26 年 4 月より、消費税率が 5%から 8%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税率については 1%から 1.7%に引き上げられ、引き上げ分については、社会福祉、社会保険、保健衛生など社会保障経費の財源に充てることとされています。

平成 27 年度の地方消費税交付金は、前年度から 37 億 6,232 万 8 千円増の 99 億 9,402 万 4 千円で、このうち社会保障財源化分は、39 億 4,355 万 5 千円となっています。(一般会計ベース)

【歳入】地方消費税交付金(社会保障財源化分) 3,944 百万円

【歳出】社会保障施策に要する経費 79,708 百万円
うち一般財源 38,178 百万円

一般会計ベース

(単位:百万円)

事業名	決算額	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
社会福祉事業	64,667	33,650	1,344	2,767	26,906
地域福祉	6,682	1,055		59	5,568
自立支援など障害者福祉	12,360	7,330	89	712	4,229
養護老人ホームなど高齢者福祉	3,048	356	1,046	139	1,507
保育所、医療助成など児童福祉	26,599	13,478	209	1,739	11,173
生活保護	15,978	11,431		118	4,429
保険事業(特別会計繰出金)	11,399	3,113			8,286
国民健康保険事業繰出金	4,700	2,268			2,432
介護保険事業繰出金	5,428	68			5,360
後期高齢者医療事業繰出金	1,271	777			494
保健衛生事業	3,642	204		452	2,986
救急医療など医療提供体制確保	1,642	45		452	1,145
予防接種・健診など疾病予防対策	2,000	159			1,841
合計	79,708	36,967	1,344	3,219	38,178